Creative Enzymes®

ネイティブ リゾプス・オリザエ リパーゼ

Cat. No. NATE-0404

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	トリアシルグリセロールリパーゼは、系名トリアシルグリセロールアシルヒドロラーゼを持つ酵素です。この酵素は次の化学反□を触媒します：トリアシルグリセロール + H2O ↔ ジアシルグリセロール + カルボキシレート。
用途	リパーゼは、キラル化合物の分解およびバイオディーゼルのトランスエステル化生産のために産業的に使用されます。
別名	EC 3.1.1.3; 9001-62-1; リパーゼ; トリアシルグリセロールアシルヒドロラーゼ; トリアシルグリセロールリパーゼ; ブチリナーゼ; トリブチリナーゼ; ツイーンヒドロラーゼ; ステアプシン; トリアセチナーゼ; トリブチリンエステラーゼ; ツイーンエース; アマノ N-AP; タケド 1969-4-9; メイト MY 30; ツイーンエステラーゼ; GA 56; カパラーゼ L; トリグリセリドヒドロラーゼ; トリオレインヒドロラーゼ; ツイーン加水分解エステラーゼ; アマノ CE; カコルダーゼ; トリグリセリダーゼ; トリアシルグリセロールエステルヒドロラーゼ; アマノ P; アマノ AP; PPL; グリセロールエステルヒドロラーゼ; GEH; メイト産業 OF リパーゼ; 肝リパーゼ; リパジン; ポストヘパリン血漿プロタミン耐性リパーゼ; 塩耐性ポストヘパリンリパーゼ; ヘパリン放出可能肝リパーゼ; アマノ CES; アマノ B; トリブチラーゼ; トリグリセリドリパーゼ; 肝リパーゼ; 肝モノアシルグリセロールアシルトランスフェラーゼ

製品情報

由来	Rhizopus oryzae
形態	粉、薄茶色
EC番号	EC 3.1.1.3
CAS登□番号	9001-62-1
活性	> 30 U/mg
最適pH	7.2（pH 6.5-7.5で非常に活発）
単位定義	1 Uは、pH 7.2および37℃でトリグリセリドから1μmolの脂肪酸を放出する酵素の量に相当します（基質としてオリーブオイルを使用）。